



2025年2月17日

各位

上場会社名 アマテイ株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 亮
(コード番号 5952 東証スタンダード・名証メイン)
問合せ先 経営管理本部副本部長 池田 幸平
(TEL : 06-6411-1236)

木割れ最強釘Ⅱ杉対応 特許取得のお知らせ

当社は、このたび枠組壁工法用の杉材対応釘として開発した「木割れ最強釘Ⅱ杉対応」に関して、特許を取得しました事をお知らせいたします。

【発明の名称】 釘
【特許番号】 特許第7624776号
【特許出願人】 アマテイ株式会社

木割れ最強釘Ⅱ杉対応は、釘業界として初めて杉材用性能証明を取得した画期的な新製品であり、既に特許を取得している従来の木割れ最強釘を更に進化させた内容で特許を取得しました。

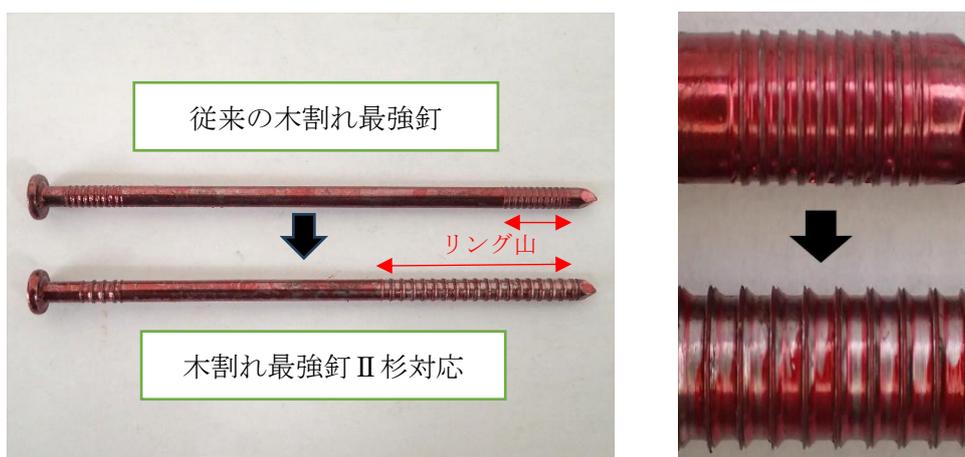
近年国策で国産杉材使用が推奨され、2018年には告知基準ならびに技術基準の解説書である「枠組壁工法建築物設計の手引」・「枠組壁工法建築物構造計算指針」通称ツーバイフォー緑本に杉材が追加記載されました。この記載により、杉材に釘を使用する場合、JIS適合釘又は杉材用性能証明取得釘を使用しなければならない法令根拠となりました。

従来ツーバイフォー住宅においては、輸入材のSPF材使用が主流で、SPF材での組み立てではJIS適合釘のCN50、CN65、CN75とSPF材用CN90相当性能証明取得釘が使用されています。CN90の代わりにSPF材用CN90相当性能証明取得釘を使用される理由として、JIS適合CN90連結釘適合釘打機の種類が少ない、重い、コスト高、木割れしやすいという問題点があります。その従来のCN90相当性能証明取得釘はSPF材使用での公的機関による耐力試験をクリアしたものであり、杉材用として使用するためには新たに杉材での耐力基準値を満たす公的機関による耐力試験をクリアしなければなりません。しかし杉材は柔らかい特性があり、従来のSPF材用CN90相当性能証明取得釘では耐力基準値を満たすことが出来ませんでした。

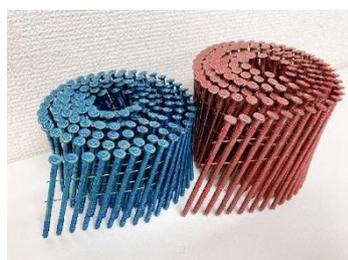
そこで当社は、従来SPF材用CN90・CN75相当性能証明取得釘として木割れ最強釘を開発販売しておりましたが、更に杉材用CN90・CN75相当性能証明取得釘開発に着手し、「木割れ最強釘Ⅱ杉対応」を開発することに成功致しました。「木割れ最強釘Ⅱ杉対応」の

特徴は、柔らかく釘が抜けやすい杉材に対し、釘の太さを従来品と同じにして打ち込み易さと割れ難さを損なわず、木材への喰いつき強度（抜けにくさ）と曲げ強度を追求した特殊なリング形状を施していることです。その特殊なリング山により、JIS 釘よりも細く木割れしにくいにも関わらず、JIS 釘以上のせん断耐力を得ることができ、且つ、SPF 材用と杉材用とで釘そのものを使い分けすること無く、また、工具の使い分けも不要なため、ご使用いただく方々にとってもオールマイティな画期的商品であります。

製品名	木割れ最強釘Ⅱ 杉対応 FCN3375ARⅡ	木割れ最強釘Ⅱ 杉対応 FCN3590ARⅡ
サイズ	3.26mm x 72.0mm (参考：JIS CN75 3.76mmx76.2mm)	3.50mm x 88.9mm (参考：JIS CN90 4.11mmx88.9mm)
せん断耐力	667N (参考：国交省告示 660N)	859N (参考：国交省告示 800N)



当社は、「木割れ最強釘Ⅱ 杉対応」をご使用頂くことで国産木材の利用促進に繋げ、森林資源循環サイクル活性化を通してカーボンニュートラル社会の実現に貢献すると共に、本製品を戦略品種の一つと位置付け、中長期的な企業価値の向上を目指します。



本件による 2025 年 3 月期連結業績に与える影響は軽微と見込んでおります。

以 上